

常陸大宮市で有機農業への理解を深めていただきました

— 県北地域有機農業産地見学・収穫体験会の開催 —

県北農林事務所と常陸大宮市では、関係機関の連携のもと県北中山間地域における農業の振興を図るために、付加価値を高めた農産物生産の取組として有機農業を推進しています。

今回、コマツナ、ホウレンソウ等で有機栽培を昨年よりはじめた「株式会社カモスフィールド」の常陸大宮市三美地区のほ場で、市民、学校給食関係者、有機農産物流通関係者などを招き、産地見学・収穫体験会を開催しました。

—有機農業産地見学・収穫体験会（コマツナ）—

- ◇ 日 時： 令和5年7月8日（土）午前9時～
- ◇ 場 所： 常陸大宮市 三美地区
- ◇ 主 催： 茨城県県北農林事務所
（共催） 常陸大宮市
株式会社カモスフィールド
- ◇ 参加者： 市民・学校給食、有機農産物流通関係者など約30名



【株式会社カモスフィールド 横山農場長】

○カモスフィールドは平成25年、笠間市で新規就農し、コマツナ、ホウレンソウをハウスで栽培。平成28年に法人化した。

○常陸大宮市では、国や県の補助事業を活用して施設整備を行い（ハウス面積1.7ha、61棟）、令和4年、有機葉物野菜の生産を開始した。

○現在、雇用人員5名の体制で、1ハウス当り年間当り5回転の葉物生産を行っている。出荷先はスーパーや生協など。

○栽培の特徴：我々の仕事は、微生物のお世話係。作付け前に牛ふんやなどの有機肥料を土壌と混和し、ビニールで土を覆「太陽熱養生」を行う。この処理により微生物が活性化し、雑草の種が死滅し、雑草はほとんど生えなくなる。

【市民の声】

○大きなハウスが何棟もあり、何をやっているのか前から気になっていた。少ない人数で作業をこなすのは大変そう。いただいたコマツナは「ごまあえ」や「おひたし」にしようかしら。

【物流会社の声】

○昨年カモスフィールドさんとは取引を始めた。今後は、常陸大宮市での取り扱いを増やしていきたい。



県北地域では、現在、有機農業に関する多様な取組が展開されています。産地見学会でいただいた貴重なご意見等も参考に、関係機関と連携を図り、引き続き有機農業の取組を推進してまいります。